

令和6年度 東京都小学校体育研究会 夏季合同研究会  
多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

「自ら学び続ける力を、仲間と共に身に付けていく体育学習」  
～運動の楽しさや課題解決の喜びを味わうことを通して～



【実証授業】

日時 令和6年11月19日（火）13時45分開始

場所 足立区立千寿双葉小学校

（最寄駅：JR 東日本・東京メトロ・東武鉄道・つくばエクスプレス  
北千住駅西口徒歩15分）

授業 体づくりの運動遊び「多様な動きをつくる運動遊び」

授業者 第2学年2組 山本 将司 教諭



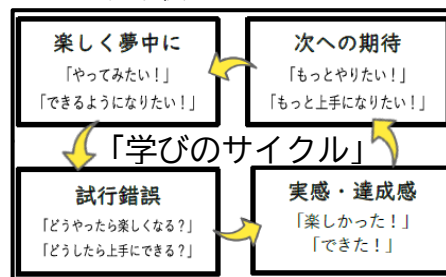
←夏季合同研究会で「多様部会」に  
聞きたいことを事前に受け付けます！

# 1 研究の内容

## (1) 多様な動きをつくる運動（遊び）部会における研究主題の捉え方

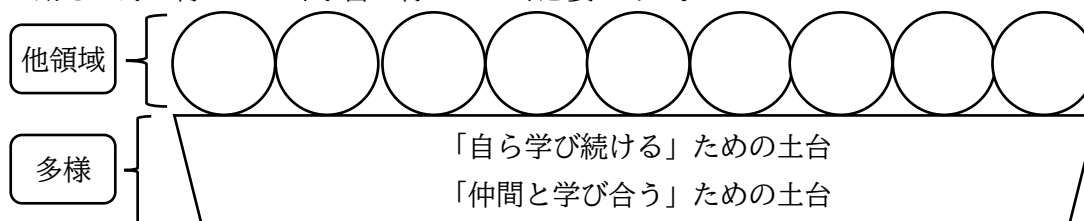
多様な動きをつくる運動（遊び）では、子供自身の「できた」を積み重ねられる特性がある。様々な基本的な体の動きを結果的に身に付けるためには、「学びのサイクル」を繰り返すことが大切である。そのために、運動遊びとの出会いを大切にするとともに、子供一人一人の「やってみたい」という思いを引き出し、試行錯誤する機会を保障することが必要となる。

**「自ら学び続ける力」 = 「学びのサイクル」を繰り返すこと**  
「学びのサイクル」とは、子供が自己の課題に応じて、行い方や課題解決の方法を取捨選択し、自己調整しながら動きを増やしたり広げたりすることである。



## (2) 多様な動きをつくる運動（遊び）だからこそできること

すべての運動遊びの土台となるため、低学年から多様な動きに楽しみながら取り組み、結果的に動きが身に付いていく学習を行っていく必要がある。



## (3) 「自ら学び続ける力」を身に付けるための手立て

子供が「自ら学び続ける力」を身に付けるために、本部会では、3つの手立てが必要と考えた。

### ○ 学びの共有の再考

本部会が提案してきた「学びを価値付ける時間」で積み上げてきた研究成果を生かし、「学びの共有」へとステップアップできるようにすること

### ○ 教師の言葉がけの在り方

「学びの共有」の再考に伴い、本部会が重点を置いて取り組んできた「問いの言葉がけ」についても、単元の中での取り扱いを再考していくこと

### ○ 学習過程

子供自身が「学びのサイクル」を回すことができるように、低学年の2年間を見通した学習過程を考え、子供が自己決定できるような「学び方の計画」を提案すること

## 2 これまでの研究や部内授業で考えてきたこと

○子供たちの課題（やってみたい動き）は常に変わり、その度に「学びのサイクル」を回している。

○自己決定とは、やってみたいことを子供に自由に選択させることではない。様々な行い方や課題解決の方法を子供が取捨選択をし、自己調整しながら取り組めるように指導する。

○単元前半では、それぞれやってみたい動きに取り組む中でも、共通する動きのこつは全体で価値付ける必要がある。単元後半にかけて、子供が必要と感じていることを必要なときに共有していく。

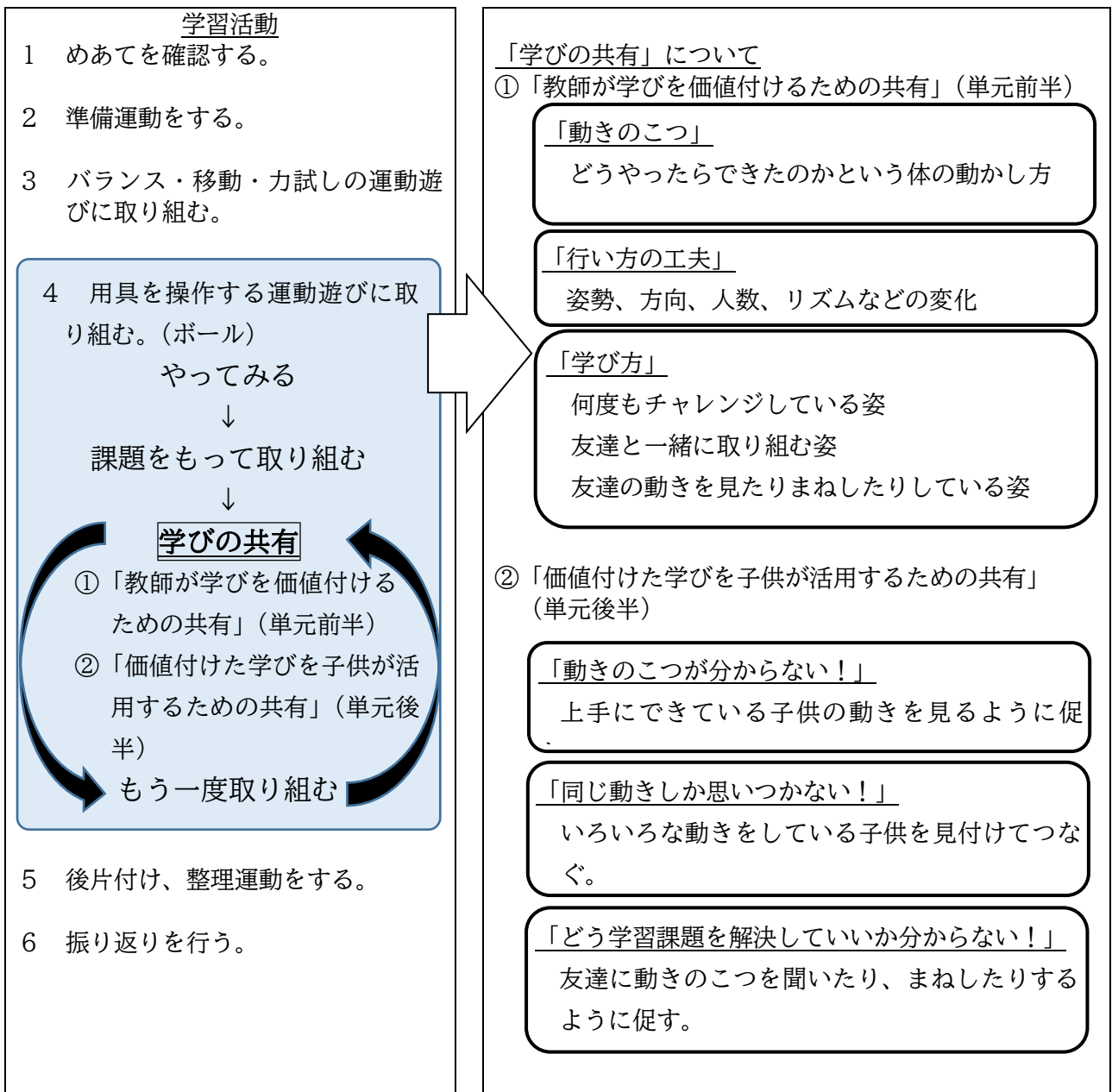
### 3 研究主題を実現するための手立ての工夫

#### (1) 学びの共有の再考

「学びを価値付ける時間」から「学びの共有」へ

「学びを価値付ける時間」では、教師が価値付けることで、それをやるのが正解だと思ってしまう、価値の押し付けになってしまうところがある。また、子供の学習課題に適さない学びを価値付ける時間になってしまうことがあることから、子供の学習状況に応じた共有にするために「学びを価値付ける時間」から「学びの共有」に変更した。

本部会が考える「学びの共有」とは、「教師が学びを価値付けるための共有」と「価値付けた学びを子供が活用するための共有」である。「教師が学びを価値付けるための共有」では動きのこつや行い方の工夫、学び方を理解するために全体で共有する。「価値付けた学びを子供が活用するための共有」では理解したことを活用できるように、子供の学習状況に応じて小集団で共有する。



## (2) 教師の言葉がけの在り方

子供の「自ら学び続ける力」の素地を培っていくために、教師は意図的・計画的に言葉がけをする。単元前半では、動きのこつや行い方の工夫、学び方をおさえるために具体的な言葉がけを中心に行い、単元後半では、自己決定の選択肢を広げたり、子供同士をつなげたりするために抽象的な言葉がけを中心に行う。ただし、子供の学習状況を見取りながら、その実態に応じて具体的・抽象的な言葉がけの割合を調整していく必要がある。

- 具体的な言葉がけ  
「動きのこつや行い方の工夫、学び方」などに関する言葉がけ
- 抽象的な言葉がけ  
子供自身が言語化できるようにする「問いの言葉がけ」や「つなぐ言葉がけ」

	単元前半	単元後半
言葉がけの割合	<p>こつや工夫、学び方の言葉がけ</p>	<p>問いの言葉がけ つなぐ言葉がけ</p>
教師の見取り	<p>すぐに遊びに取り組んでいてナイス！だけど、ねらっている動きとは違うな。</p> <p>捕り方のこつはおさえておきたいな。</p> <p>人がいない安全な場所で行っていいね！</p>	<p>上手になってきたからこつを言語化させよう。</p> <p>〇〇さんと△△さんが同じ動きに取り組んでいるぞ。</p> <p>〇〇さんが困っているな。</p>
教師の関わり方	<p>ボールを使って他にどんな捕り方ができるかな？</p> <p>手をお皿のように広げよう！</p> <p>安全に気を付けていいね！</p>	<p>子供</p> <p>子供</p> <p>子供</p> <p>子供</p> <p>子供</p> <p>子供</p> <p>どうやったらうまくできたの？</p> <p>〇〇さんの動きを見よう！</p> <p>〇〇さんができるようになるためには、何て伝えてあげたらいい？</p>

### (3) 学習過程

子供自身が「学びのサイクル」を回すことができるようになるために、低学年の2年間の学習過程で「学び方を知る段階」から「学び方を活用する段階」を経験することが大切である。また、小単元の学習過程でも「学びのサイクル」(やってみたい→試行錯誤する→振り返る→もっとやってみる)を繰り返し回していくことが、子供の「自ら学び続ける力」に結び付くと考える。以下の図は、2年間を見通した学習過程及び小単元、一単位時間の学習過程の例を示している。単元の内容配列(単元計画)については各学校、学級の実態に応じて入れ替え可能である。また、子供の学びの姿に応じて、毎時間のねらいも柔軟に変更する必要もある(令和5年度の資料参照)。

#### 第1学年

時	1~4	5~8	9~12	13~16
段階	主に学び方を知る段階			主に学び方を活用する段階
学習内容	移動 用具【ボール】	用具【ボール】 用具【竹馬、一輪車、長なわ】	バランス 用具【フープ】	力試し 用具【短なわ】

#### 第2学年

時	1~4	5~8	9~12	13~16	17・18(本時)
段階	主に学び方を知る段階			主に学び方を活用する段階	
学習内容	移動 用具【ボール】	用具【ボール】 用具【竹馬、一輪車、長なわ】	バランス 用具【フープ】	力試し 用具【短なわ】	バランス、移動、力試し 用具【ボール、フープ、短なわ】 <small>※やってみたい運動遊びを選択して取り組む</small>

時	1	2	3	4
段階	主に学習課題を見いだす段階		主に学習課題を解決する段階	
ねらい	動きとの出会い まずはやってみる	動きや行い方の バリエーションを広げる	こつを見付ける 友達の動きを見る まねする	もっとやってみたい 動きに取り組む

時	17	18(本時)
段階	自ら「学びのサイクル」を 回して学習する段階	
ねらい	1~16時を振り返り、 もっとやってみたい 動きを選んで取り組む	より楽しい遊び方を 工夫する

時	3
一単位時間の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動をする。</li> <li>○体を移動する運動遊びに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・陣取りじゃんけん</li> <li>・UFO</li> </ul> </li> <li>○用具を操作する運動遊びに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具(ボール)を投げる、捕る動き</li> </ul> </li> </ul> <p>やってみる時間</p> <p>↓</p> <p>学びの共有</p> <p>↓↑</p> <p>もう一度やってみる時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○後片付け、整理運動をする。</li> <li>○本時のねらいに沿って振り返りをする。</li> </ul>

時	18(本時)
一単位時間の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動をする。</li> <li>○バランス、移動、力試しの運動遊びからやってみたい運動遊びを選んで取り組む。</li> <li>○用具を操作する運動遊びの場や用具を選んで取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール、フープ、短なわ</li> </ul> </li> </ul> <p>やってみる時間</p> <p>↓</p> <p>学びの共有</p> <p>↓↑</p> <p>もう一度やってみる時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○後片付け、整理運動をする。</li> <li>○本時のねらいに沿って振り返りをする。</li> </ul>

## 4 実証授業 (18/18)

### (1) 本時のねらい

○基本的な動きができるようにする。【知識及び運動】

○多様な動きをつくる運動遊びを選び、試行錯誤しながら取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

### (2) 本時の展開

学習内容・活動	○教師のかかわり ◎配慮を必要とする子供への支援	□評価 (方法)			
1 準備運動をする。	○曲に合わせて体を動かし、「心と体のスイッチオン」ができるようにする。				
2 学習のめあてを確認する。 ㊦ もっとやりたい遊びで 楽しもう！	発問 「今までどんな遊びをやったかな？」 「どんな遊びをやってみたいかな？」				
3 「体のバランスをとる運動遊び」「体を移動する運動遊び」「力試しの運動遊び」の中からやってみたい運動遊びを選んで取り組む。 <table border="1" data-bbox="188 891 577 1019"> <tr> <td>力 試 し</td> <td>バ ラ ン ス</td> <td>移 動</td> </tr> </table> <やってみる時間> ↓ <学びの共有> ↓↑ <もう一度やってみる時間>	力 試 し	バ ラ ン ス	移 動	○運動遊びを選び、すぐに取り組んでいる子供を称賛する。 ○友達と一緒に運動遊びにすすんで取り組んでいる子供を称賛する。 ◎上手な友達の動きの真似を促したり、動きのこつを具体的に助言したりする。 ○「学びのサイクル」を回すことができている児童を称賛し、共有する。	□やってみたい運動遊びを選び、「学びのサイクル」を回しながら取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・学習カード)
力 試 し	バ ラ ン ス	移 動			
4 「用具を操作する運動遊び」に取り組む。(ボール、フープ、短なわから選ぶ) <table border="1" data-bbox="188 1310 550 1438"> <tr> <td>フ ー プ</td> <td>短 な わ</td> <td>ボ ー ル</td> </tr> </table> <やってみる時間> ↓ <学びの共有> ↓↑ <もう一度やってみる時間>	フ ー プ	短 な わ	ボ ー ル	○すすんで用具を選び、すぐに運動遊びに取り組んでいる子供を称賛する。 ○用具ごとに子供を集め、学びの共有をする。 ○本時のねらいに沿った子供の姿を紹介する。 ◎共有した内容の理解を深めるために、個別に言葉がけをして確認する。	□基本的な動きができる。【知識・技能】(観察・学習カード)
フ ー プ	短 な わ	ボ ー ル			
5 後片付け・整理運動をする。 6 学習の振り返りをする。	○本時のねらいに沿った振り返りができるように、本時の発問を確認する。 ◎学習カードを書くために、取り組んだことを個別に言葉をかけて確認する。				

### (3) 実証授業で明らかにしたいこと

・低学年における2年間の学習過程

・子供が「自ら学び続ける」ための3つの手立ての効果

## 5 シン・運動遊び例集

昨年度に引き続き、シン・運動遊び例集の作成を行っている。実際に授業の中で活用することができるように、「バランス」「移動」「力試し」の運動（遊び）を視覚的にも分かりやすくなるよう、作成している。指導場面で使える言葉がけも併せて示しているため、ぜひ、たくさんの方にご活用いただきたい。下記のもの、例示の一つである。

バランス      移動      力試し

回る

寝転ぶ・起きる

座る・立つ


バランスを保つ

### 1-④ 人工衛星

<ポイント>

- 腰を落とす
- ひざを曲げる
- 足に力を入れる
- ピタッと止まる

人数：5～6人



問い

- ・どうやったら動かないかな？
- ・自分は動かずに相手を動かすためには、どうすればよいか？

称賛


- ・腰をぐっと落としていていいね！
- ・「人工衛星」を元気によく言おう！

安全

- ・友達とギュッと手をつなごう。
- ・倒れそうなときは無理せず一歩前に出よう。

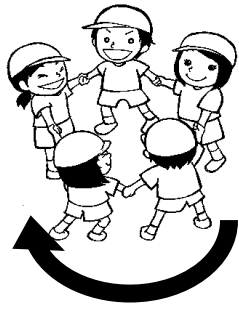
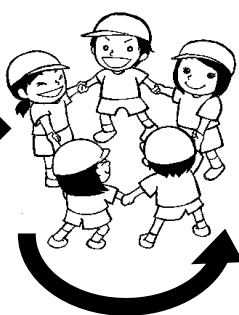
助・支

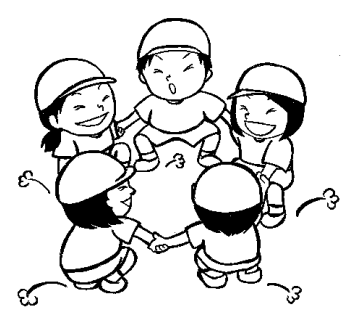
- ・膝をぐっと曲げて見よう。
- ・歌に合わせてジャンプしてみよう。



アレンジ

- ・反対に回ろう
- ・回らないでジャンプしよう


→




# 東京都小学校体育研究会 多様な動きをつくる運動（遊び）部会の研究資料

本部会では、子供たちが「楽しく基本的な動きを身に付ける」ことができるように、遊びを開発したり、授業改善を行ったりしています。いつでも新規部員を募集しています。ぜひ、一緒に研究をしませんか？

多様部会HPで、授業資料をUPしています。

東京都小学校体育研究会 多様

検索



多様部会  
Google ドライブ  
「資料配布」



本部会の研究  
が全て HP に  
アップされて  
います！

## 【多様な動きをつくる運動（遊び）指導資料】



「H25・26 運動遊び例集」



「H27 言葉がけ動き例集」



「H28 宝の地図」



「H30 価値付けガイド」



「R1 授業ヒントシート」



「R1 多様ガイドブック」



「R3 イラスト版学習過程」



「R4 ランドの地図」

「R5 シン・運動遊び例集」

※令和5年度に、大幅リニューアルを行いました。運動遊びを授業ベースで行うことができるように、一つ一つの運動例を図解するだけでなく、Youtubeでも紹介するようにしました。令和6年度も、運動例を追加していきます！

## 【多様な動きをつくる運動（遊び）研究資料】

・研究内容「実証授業資料（H28～R5）」

※部会の研究内容をまとめたものとなります。研究の経過や継続している内容などもご覧いただけます。



東京都小学校体育研究会 多様な動きをつくる運動（遊び）部会

部長 武蔵野市立第一小学校 中本 隼介 E-mail [shun.beck@gmail.com](mailto:shun.beck@gmail.com) TEL 0422-22-1421